

住吉大社駅(南海本線)③

住吉大社1800年の歴史を訪ねて

住吉公園駅(阪堺電車上町線) 住吉鳥居前駅(阪堺電車阪堺線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.041

南海住吉大社駅

①粉浜商店街

住吉大社の門前市として発達して、現在では350メートルの商店街に120店舗もの店が並んでいます。3、4代続く老舗も多く、豆腐やこんにやく、うどん、おかきなどの専門店などは住吉名物として参詣客から親しまれています。

②閻魔地藏(六道の辻)

その昔、難波の浜辺から運ばれて、六道の辻(道が6本あったので。現在は7本に増えています)に来た際に、急に重くなって一歩も進めなくなったので当地に安置されました。戦国時代の天文7年(1538)の銘が刻まれて、恐ろしい閻魔大王の姿をしていますが、心は優しい地藏菩薩として地元住民に崇められています。

③生根神社

生根神社には、住吉大社より古くから当地に鎮座していたという伝承があります。ご祭神は少彦名命で、現在の本殿(大阪府指定重要文化財)は淀殿の寄進で造営されました。境内社の天満宮の菅公木製御神像は、文明14年(1482)、天台法主・融円律師作で国宝級の価値を有しています。菅公像は時代を経るにつれて怒顔から笑顔に変わる傾向



がありますが、木製御神像は無表情で過渡期にあることがわかります。

④一運寺

推古21年(613)に聖徳太子が建立して最澄、空海、法然などのご説法なされたという住吉ぎつての名刹です。境内には赤穂浪士の大石良雄・主税親子と寺坂吉右衛門のお墓があって、これは赤穂浪士を資金面で援助した大坂商人・天野屋利兵衛の子孫が建てたものです。

⑤宝泉寺十三仏

天元5年(982)に『往生要集』で有名な源信上人が開基した融通念仏宗の寺院です。十三仏は元亀年間(1570~73)に、旧住吉村字石本(神ノ木駅付近)にあった巨石を刻んだもので、釈迦如来以外の十二仏は「干支の守り本尊」として信仰されています。薬師如来、弥勒菩薩、地藏菩薩の3体は他に比べて小さく、「石工の計算違い？」という説があります。

⑥池田屋本舗

元禄年間(1688~1704)に酒造業として創業しましたが、明治初期に味噌づくりを始めました。明治、大正、昭和天皇にも献上された「住乃江味噌」は住吉名物として有名です。

⑦住吉大社

神功皇后11年(211)創建。日本全国にある住吉神社の総本社です。おとぎ話「一寸法師」は、子宝に恵まれなかった初老の夫婦が住吉大社に参って子供を出産し、その子が住吉津から大阪湾、淀川、京にのぼって鬼退治をするという話で、じつは住吉大社の神の子が主人公の物語です。



南海住吉大社駅

